

すまい × すまう

PR

東京のベッドタウンのひとつ、千葉県佐倉市のユーカリが丘。住民の高齢化で空洞化に悩む街が増える中、子どもから高齢者まで、多様な世代が快適に暮らせるよう進められている街づくりの様子を紹介する。

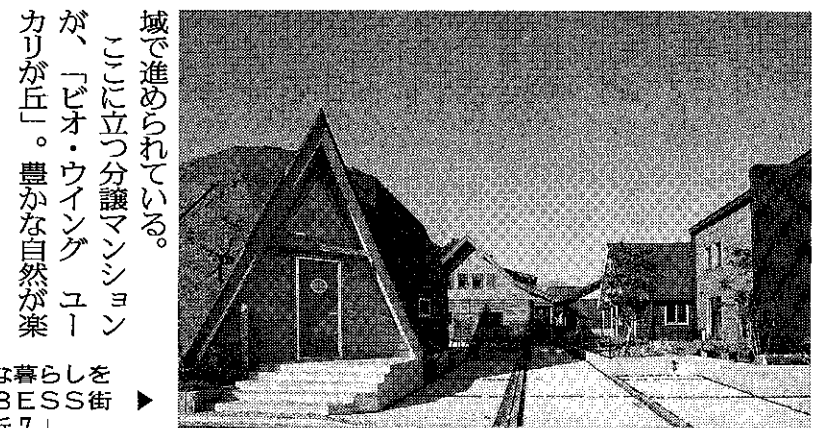
ユーカリが丘は、京成ユーカリが丘駅を挟んで南北に街が広がり、住宅地内を新交通システム「山万ユーカリが丘線」が走る。1971年に、デベロッパーの山万が開発に着手。現在は、約1万5000人が暮らし、街に成長した。開発が始まってから38年を迎えるユーカリが丘だが、70年代に造成されたベッドタウンの多くが、居住者の少子高齢化と人口減少の問題を抱えている中で、この地域はその傾向が目立ちません(佐倉市都市計画課)と。

多様な世代に快適な街



眼前に池や緑が広がる自然環境豊かな「ピオ・ウイング ユーカリが丘」

「ユーカリが丘」は、07年に開業した「ユーカリが丘」は、認知症高齢者のグループホームに学童保育所を併設した、千葉県では初の施設。子どもと同居者が自然にふれ合うことで、認知症の進行を遅らせること、子どもに思いやりや優しさを学んでもらうことを目的としている。



スローライフな暮らしを実現できる「BESS街区ユーカリが丘7」

山万の担当者は「この街で育った若者が結婚して戻ってくるのが最近多いようです。親世代が子ども世代に戸建て住宅を譲り、自分たちはマンション住まいをする例も実際に多く見られるようになりました」と成果を話します。戸建て住宅のタイプも多様だ。自然志向のログハウスや間取り可変の住宅まで、好みに応じた住まい選びを可能にしている。

しめるところが魅力だ。間取りは2LDK、3LDK、総戸数323戸。興味深いのは、自然に親しむことができるさまざまな特典が付いているところ。居住者は山中湖にあるタイムシェア別荘「フェザント山中湖」に宿泊ができ、ピオピア地区にある農地で農業体験することも可能だ。ピオピア地区で、ログハウスなどを扱う「アールシーコア」が、建築分譲地「BESS(ベス)街区」を開発している。昨年はログハウスの街「BESS街区ユーカリが丘宮ノ台」を販売、高い人気を集めた。

開発進むユーカリが丘

「購入していただいたお客様様の年齢は30〜50歳代。こうしめるところが魅力だ。間取りは2LDK、3LDK、総戸数323戸。興味深いのは、自然に親しむことができるさまざまな特典が付いているところ。居住者は山中湖にあるタイムシェア別荘「フェザント山中湖」に宿泊ができ、ピオピア地区にある農地で農業体験することも可能だ。ピオピア地区で、ログハウスなどを扱う「アールシーコア」が、建築分譲地「BESS(ベス)街区」を開発している。昨年はログハウスの街「BESS街区ユーカリが丘宮ノ台」を販売、高い人気を集めた。

暮らし ラボ 室内環境

設計で風通し読み 自然と共生した家

私たちにとっては耳慣れない言葉だが、「卓越風向」という気象用語がある。その土地で最も頻りに吹く風向きのことで、各地方気象台のホームページから、自分の住む地域にどんな風が吹きやすいかを調べることができる。

卓越風向は、地形によって異なるし、まわりの建築物の影響を受けて変わることもある。こうした土地が持つ風の傾向を知っていれば、風通しのいい家づくりにも生かすことができる。



<http://home.yomiuri.co.jp/> 「暮らしラボ」を読むことができます

日常の生活の中で、自然の風をつまぐ家の中に取り入れることは、環境との共生でもあるからだ。風通しのいい家であることは、窓の数とその配置が重要な鍵を握る。一つの部屋に、風を取り入れる風上側と風が抜けていく風下側の2か所の窓があるのが理想だが、今の日本の住宅事情のもとではなかなか難しい。

で家の中に一本の風の通り道を作ることができる。また、安藤さんが手掛けた例では、浴室の比較的高い位置に小さな窓を作る工夫が役に立ったという。これは暖かい空気が上に向かって流れる性質を利用したもので、入浴後、浴室のドアと天窗の両方を開けておくと空気は天窗から抜け、風の流れることができる。そのほかにも、一つしか窓がない部屋のドアにアンダーカットなどの通気口を施し、風の通り道を確認した例もある。

住まい探しは マンションエンジン
ご成約いただいた方に 5万円キャッシュバック!
http://www.manen.jp/ マンションエンジン 検索